

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2018年11月16日～2028年9月15日	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。	
主 要 投資対象	為替ヘッジあり	イ. ケイマン籍の外国投資信託「グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	為替ヘッジなし	イ. ケイマン籍の外国投資信託「グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネー・マザーファンド	本邦通貨表示の公社債
投資制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	隔月分配型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
	資産成長型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

# NWQグローバル厳選証券ファンド

(為替ヘッジあり/隔月分配型) (為替ヘッジなし/隔月分配型)  
(為替ヘッジあり/資産成長型) (為替ヘッジなし/資産成長型)  
(愛称：選択の達人)

## 運用報告書 (全体版)

隔月分配型 (第23期 (決算日 2022年11月17日)  
第24期 (決算日 2023年1月17日)  
第25期 (決算日 2023年3月17日))  
資産成長型 第9期 (決算日 2023年3月17日)  
(作成対象期間 2022年9月21日～2023年3月17日)

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、世界の米ドル建資産に投資を行ない、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先 (コールセンター)  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00～17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<3379>  
<3380>  
<3381>  
<3382>

為替ヘッジあり／隔月分配型

最近15期の運用実績

決算期	基準価額				公社債組入率	投資利益組入	信託証券比率	純資産額
	(分配落)	税金配	込金	期騰落率				
11期末 (2020年11月17日)	円		円	%	%		%	百万円
12期末 (2021年1月18日)	10,572		30	2.3	—		99.0	1,358
13期末 (2021年3月17日)	10,682		30	1.3	—		99.2	1,299
14期末 (2021年5月17日)	10,503		30	△ 1.4	—		99.1	1,305
15期末 (2021年7月19日)	10,613		30	1.3	—		99.2	1,294
16期末 (2021年9月17日)	10,763		30	1.7	—		98.7	1,270
17期末 (2021年11月17日)	10,848		30	1.1	—		99.1	1,310
18期末 (2021年11月17日)	10,713		30	△ 1.0	—		99.4	1,221
19期末 (2022年1月17日)	10,664		30	△ 0.2	—		99.2	1,223
20期末 (2022年3月17日)	9,977		30	△ 6.2	—		99.4	1,093
21期末 (2022年5月17日)	9,422		30	△ 5.3	—		99.2	1,038
22期末 (2022年7月19日)	9,076		30	△ 3.4	—		99.4	989
23期末 (2022年9月20日)	9,043		30	△ 0.0	—		99.5	985
24期末 (2022年11月17日)	8,920		30	△ 1.0	—		99.0	929
25期末 (2023年1月17日)	9,093		30	2.3	—		99.4	943
25期末 (2023年3月17日)	8,658		30	△ 4.5	—		99.0	877

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

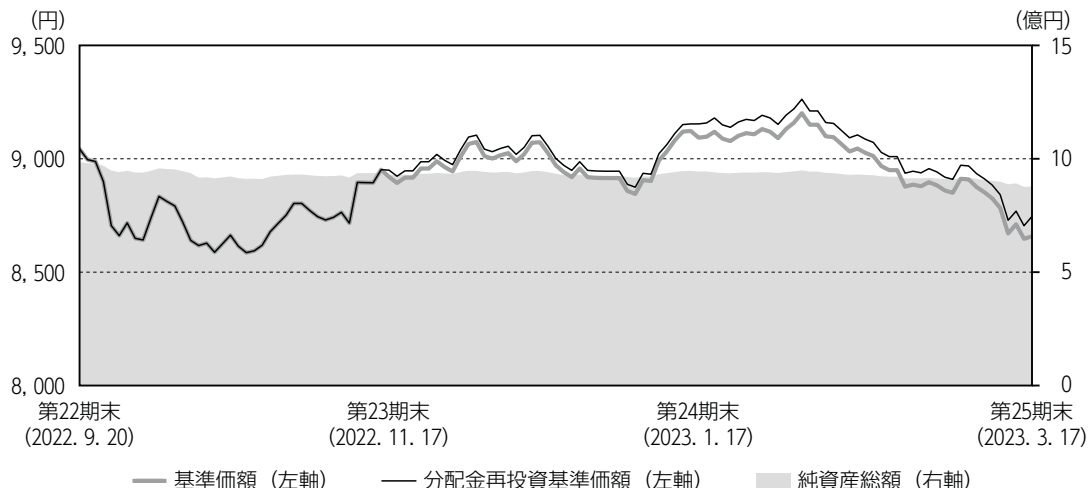
(注3) 公社債組入率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

第23期首：9,043円

第25期末：8,658円（既払分配金90円）

騰落率：△3.3%（分配金再投資ベース）

#### 基準価額の主な変動要因

フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）で保有している投資適格社債やハ

イールド債券などの小幅な下落がマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）：グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブルユー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 入 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率		
第23期	(期 首) 2022年 9月20日	円	%	%	%
	9月末	9,043	—	—	99.5
	10月末	8,649	△ 4.4	—	99.2
	(期 末) 2022年11月17日	8,803	△ 2.7	—	99.4
第24期	(期 首) 2022年11月17日	8,950	△ 1.0	—	99.0
	11月末	8,920	—	—	99.0
	12月末	8,944	0.3	—	98.9
	(期 末) 2023年 1月17日	8,858	△ 0.7	—	99.0
第25期	(期 首) 2023年 1月17日	9,123	2.3	—	99.4
	1月末	9,093	—	—	99.4
	2月末	9,091	△ 0.0	—	99.1
	(期 末) 2023年 3月17日	8,897	△ 2.2	—	99.3
		8,688	△ 4.5	—	99.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

（2022. 9. 21 ~ 2023. 3. 17）

## ■ 海外金融市況

海外金融市場では、株式市場および債券市場ともにおおむね横ばいの動きとなる中、保有している銘柄はそれぞれまちまちな動きとなりました。

海外株式市場は、当作成期首より、予想以上のインフレ率の上昇や英国の財政悪化懸念などで欧米の金利が上昇したこと、企業業績の見通しの下方修正が相次いだことなどが嫌気され、2022年10月半ばにかけて下落しました。11月末にかけては、英国市場の混乱が収束して欧米の金利上昇が一服したことや、米国のインフレ率が予想を下回ったことなどが好感されて上昇しましたが、年末にかけては、米国の景況感や企業業績の悪化が懸念されて下落しました。2023年に入ると、賃金上昇率の伸びが鈍化しF R B（米国連邦準備制度理事会）の利上げペースの減速が期待されたことなどから再び上昇に転じましたが、2月以降は予想を上回る経済指標の発表が相次ぎ金利が上昇したことなどから、当作成期末にかけて株価は下落しました。当作成期を通しては、おおむね横ばいの動きとなりました。

海外債券市場は、当作成期首より、堅調な労働市場に加えてC P I（消費者物価指数）が予想を上振れたことなどから金融引き締めが加速するとの観測が強まり、金利は上昇（債券価格は下落）しました。また、英国で大規模な財政政策が発表され同国の金利が急上昇したことも、世界的な金利上昇圧力となりました。2022年11月には、C P Iが予想を下振れたことで長期のインフレ期待が低下したことや、世界的な景気減速懸念が高まったことなどから、金利は低下しました。12月は、F R Bが2023年末の政策金利見通しを上方修正したことや日銀が想定外の政策修正を行ったことで、世界的な金融引き締めが意識されたことなどから、金利は上昇しました。2023年1月は、米国の雇用統計において賃金の伸びが予想を下回ったことや、物価指数においてインフレ鈍化傾向が確認されたことなどが金利低下材料となり、金利は低下しました。2月には、労働市場をはじめ発表された経済指標が軒並み強い結果となり、さらなる金融引き締め観測が織り込まれたことで金利は上昇に転じ、1月の金利低下が巻き戻される格好となりましたが、3月には米国地方銀行の経営破綻により金融機関をめぐる懸念が高まったことなどから、再び金利低下が進みました。当作成期を通しては、金利はおおむね横ばいとなりました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資します。フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

当ファンドでは、世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。当ファンドでは、投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながらも、景気回復局面において優位なパフォーマンスが期待される転換社債や株式などリスク資産の組入比率を高めることを検討してまいります。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

（2022. 9. 21 ~ 2023. 3. 17）

### ■当ファンド

当ファンドは、フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）への投資割合を高位に維持することをめざしました。

### ■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れました。投資適格社債やハイイールド債券などのインカム系資産をポートフォリオの中心としながらも、株式についても一定の組入比率を維持しました。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

## ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

## ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第23期	第24期	第25期
	2022年9月21日 ～2022年11月17日	2022年11月18日 ～2023年1月17日	2023年1月18日 ～2023年3月17日
当期分配金（税込み）（円）	30	30	30
対基準価額比率（％）	0.34	0.33	0.35
当期の収益（円）	30	30	30
当期の収益以外（円）	—	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	965	984	990

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注4）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

## ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	第23期	第24期	第25期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 36.84円	✓ 48.71円	✓ 36.31円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	473.69	476.05	476.68
(d) 分配準備積立金	484.89	489.43	507.52
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	995.43	1,014.20	1,020.52
(f) 分配金	30.00	30.00	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	965.43	984.20	990.52

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資します。フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

当ファンドでは、世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。当ファンドでは、投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながらも、景気回復局面において優位なパフォーマンスが期待される転換社債や株式などリスク資産の組入比率を高めることを検討してまいります。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。



## 1 万口当りの費用の明細

項 目	第23期～第25期 (2022. 9. 21～2023. 3. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	49円	0.549%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は8,901円です。
(投 信 会 社)	(14)	(0.161)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(33)	(0.375)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	49	0.553	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

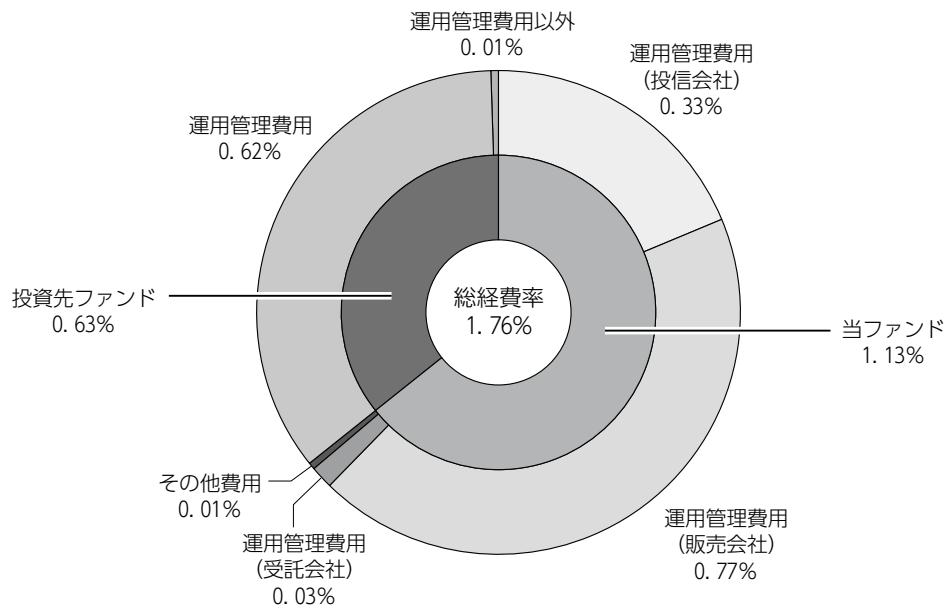
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.76%です。



総経費率（① + ② + ③）	1.76%
①当ファンドの費用の比率	1.13%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.62%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.01%

（注1）投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

（注4）各比率は、年率換算した値です。

（注5）①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注6）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

（注7）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

（注8）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## ■売買および取引の状況 投資信託受益証券

(2022年9月21日から2023年3月17日まで)

決算期	第 23 期 ～ 第 25 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	259.923493	21,515	1,090.780328	90,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

## ■主要な売買銘柄 投資信託受益証券

(2022年9月21日から2023年3月17日まで)

第 23 期 ～ 第 25 期							
買 付				売 付			
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY HEDGED DISTRIBUTION CLASS (ケイマン諸島)	61.24974	5,000	81	NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY HEDGED DISTRIBUTION CLASS (ケイマン諸島)	1,090.780328	90,000	82

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

## ■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

## ■組入資産明細表

### (1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 25 期 末		
	□ 数	評価額	比率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY HEDGED DISTRIBUTION CLASS	10,713.206882	868,444	99.0

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

### (2) 親投資信託残高

種 類	第 22 期 末	第 25 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	180	180	183

(注) 単位未満は切捨て。

# NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）

## ■投資信託財産の構成

2023年3月17日現在

項 目	第 25 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 868,444	% 97.5
ダイワ・マネー・マザーファンド	183	0.0
コール・ローン等、その他	22,208	2.5
投資信託財産総額	890,836	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年11月17日)、(2023年1月17日)、(2023年3月17日) 現在

項 目	第23期末	第24期末	第25期末
<b>(A) 資産</b>	<b>953,776,508円</b>	<b>948,681,961円</b>	<b>900,836,642円</b>
コール・ローン等	13,137,130	10,214,190	12,208,279
投資信託受益証券（評価額）	920,455,687	938,284,097	868,444,689
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	183,692	183,674	183,674
未収入金	19,999,999	—	20,000,000
<b>(B) 負債</b>	<b>23,846,249</b>	<b>4,897,314</b>	<b>23,370,531</b>
未払金	10,000,000	—	10,000,000
未払収益分配金	3,127,620	3,113,859	3,040,498
未払解約金	9,028,152	—	8,606,864
未払信託報酬	1,678,228	1,758,367	1,685,776
その他未払費用	12,249	25,088	37,393
<b>(C) 純資産総額 (A - B)</b>	<b>929,930,259</b>	<b>943,784,647</b>	<b>877,466,111</b>
元本	1,042,540,231	1,037,953,315	1,013,499,510
次期繰越損益金	△ 112,609,972	△ 94,168,668	△ 136,033,399
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>1,042,540,231□</b>	<b>1,037,953,315□</b>	<b>1,013,499,510□</b>
1万口当り基準価額 (C/D)	<b>8,920円</b>	<b>9,093円</b>	<b>8,658円</b>

\* 当作成期首における元本額は1,089,318,795円、当作成期間（第23期～第25期）中における追加設定元本額は12,029,091円、同解約元本額は87,848,376円です。

\* 第25期末の計算口数当りの純資産額は8,658円です。

\* 第25期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は136,033,399円です。

## ■損益の状況

第23期 自2022年9月21日 至2022年11月17日  
 第24期 自2022年11月18日 至2023年1月17日  
 第25期 自2023年1月18日 至2023年3月17日

項 目	第23期	第24期	第25期
(A) 配当等収益	5,532,145円	5,482,900円	5,378,905円
受取配当金	5,533,005	5,483,927	5,379,144
受取利息	6	1	2
支払利息	△ 866	△ 1,028	△ 241
(B) 有価証券売買損益	△ 13,360,428	△ 17,302,532	△ 44,714,110
売買益	1,661,472	17,348,742	549,474
売買損	△ 15,021,900	△ 46,210	△ 45,263,584
(C) 信託報酬等	△ 1,690,477	△ 1,771,206	△ 1,698,081
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 9,518,760	△ 21,014,226	△ 41,033,286
(E) 前期繰越損益金	△ 133,811,504	△ 145,127,609	△ 124,078,102
(F) 追加信託差損益金	33,847,912	33,058,574	32,118,487
(配当等相当額)	( 49,384,320)	( 49,412,431)	( 48,311,728)
(売買損益相当額)	(△ 15,536,408)	(△ 16,353,857)	(△ 16,193,241)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 109,482,352	△ 91,054,809	△ 132,992,901
(H) 収益分配金	△ 3,127,620	△ 3,113,859	△ 3,040,498
次期繰越損益金 (G + H)	△ 112,609,972	△ 94,168,668	△ 136,033,399
追加信託差損益金	33,847,912	33,058,574	32,118,487
(配当等相当額)	( 49,384,320)	( 49,412,431)	( 48,311,728)
(売買損益相当額)	(△ 15,536,408)	(△ 16,353,857)	(△ 16,193,241)
分配準備積立金	51,266,382	52,743,608	52,078,419
繰越損益金	△ 197,724,266	△ 179,970,850	△ 220,230,305

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

## ■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第23期	第24期	第25期
(a) 経費控除後の配当等収益	3,841,657円	5,056,737円	3,680,824円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0
(c) 収益調整金	49,384,320	49,412,431	48,311,728
(d) 分配準備積立金	50,552,345	50,800,730	51,438,093
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	103,778,322	105,269,898	103,430,645
(f) 分配金	3,127,620	3,113,859	3,040,498
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	100,650,702	102,156,039	100,390,147
(h) 受益権総口数	1,042,540,231口	1,037,953,315口	1,013,499,510口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ			
1万口当り分配金（税込み）	第23期	第24期	第25期
	30円	30円	30円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

## 為替ヘッジなし／隔月分配型

## 最近15期の運用実績

決算期	基準価額			公社債組入率	投資信託比率	純資産額
	(分配落)	税金込	騰落率			
	円	円	%	%	%	百万円
11期末 (2020年11月17日)	9,847	70	2.2	—	98.6	5,426
12期末 (2021年1月18日)	9,860	70	0.8	—	99.4	5,390
13期末 (2021年3月17日)	10,143	70	3.6	—	99.5	5,508
14期末 (2021年5月17日)	10,258	70	1.8	—	99.3	5,782
15期末 (2021年7月19日)	10,436	70	2.4	—	99.0	6,553
16期末 (2021年9月17日)	10,443	70	0.7	—	98.9	7,095
17期末 (2021年11月17日)	10,736	70	3.5	—	99.0	7,658
18期末 (2022年1月17日)	10,583	70	△ 0.8	—	99.2	8,460
19期末 (2022年3月17日)	10,283	70	△ 2.2	—	99.1	8,570
20期末 (2022年5月17日)	10,555	70	3.3	—	99.2	9,102
21期末 (2022年7月19日)	10,906	70	4.0	—	99.1	9,432
22期末 (2022年9月20日)	11,240	70	3.7	—	99.0	9,976
23期末 (2022年11月17日)	10,849	80	△ 2.8	—	99.4	9,771
24期末 (2023年1月17日)	10,179	80	△ 5.4	—	99.3	9,215
25期末 (2023年3月17日)	10,142	80	0.4	—	99.3	9,215

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

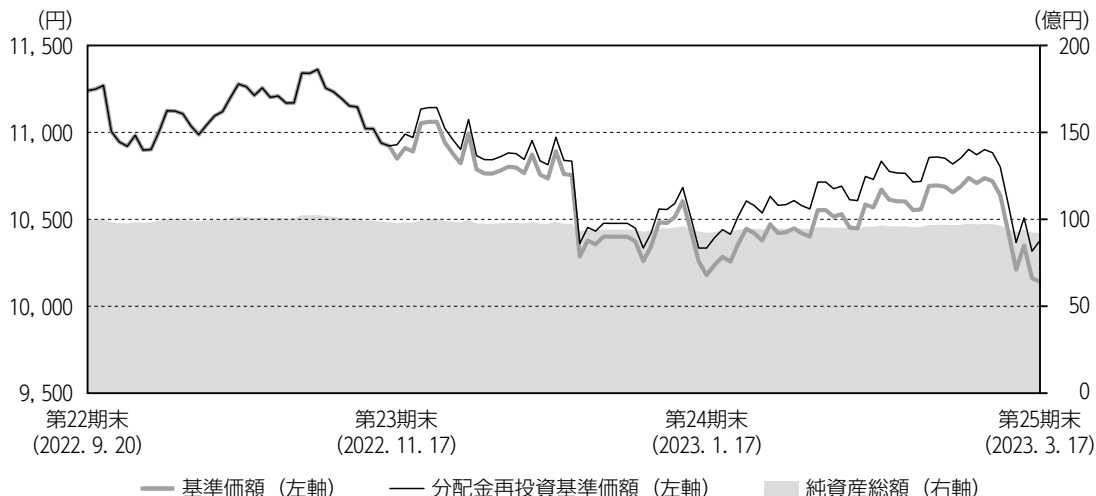
(注3) 公社債組入率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

第23期首：11,240円

第25期末：10,142円（既払分配金240円）

騰落率：△7.7%（分配金再投資ベース）

#### 基準価額の主な変動要因

フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）で保有している投資適格社債やハイイールド債券などが下落したことに加え、

円高米ドル安が進んだことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）：グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）



NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／隔月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 入 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率			
第23期	(期 首) 2022年 9月20日	円	%	%	%
	9 月末	11,240	—	—	99.0
	10月末	10,898	△ 3.0	—	98.7
	(期 末) 2022年11月17日	11,341	0.9	—	98.8
第24期	(期 首) 2022年11月17日	10,929	△ 2.8	—	99.4
	11月末	10,849	—	—	99.4
	12月末	10,822	△ 0.2	—	99.1
	(期 末) 2023年 1月17日	10,373	△ 4.4	—	99.4
第25期	(期 首) 2023年 1月17日	10,259	△ 5.4	—	99.3
	1 月末	10,179	—	—	99.3
	2 月末	10,425	2.4	—	99.0
	(期 末) 2023年 3月17日	10,695	5.1	—	99.2
		10,222	0.4	—	99.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

（2022. 9. 21 ~ 2023. 3. 17）

### ■ 海外金融市況

海外金融市場では、株式市場および債券市場ともにおおむね横ばいの動きとなる中、保有している銘柄はそれぞれまちまちな動きとなりました。

海外株式市場は、当作成期首より、予想以上のインフレ率の上昇や英国の財政悪化懸念などで欧米の金利が上昇したこと、企業業績の見通しの下方修正が相次いだことなどが嫌気され、2022年10月半ばにかけて下落しました。11月末にかけては、英国市場の混乱が収束して欧米の金利上昇が一服したことや、米国のインフレ率が予想を下回ったことなどが好感されて上昇しましたが、年末にかけては、米国の景況感や企業業績の悪化が懸念されて下落しました。2023年に入ると、賃金上昇率の伸びが鈍化しF R B（米国連邦準備制度理事会）の利上げペースの減速が期待されたことなどから再び上昇に転じましたが、2月以降は予想を上回る経済指標の発表が相次ぎ金利が上昇したことなどから、当作成期末にかけて株価は下落しました。当作成期を通しては、おおむね横ばいの動きとなりました。

海外債券市場は、当作成期首より、堅調な労働市場に加えてC P I（消費者物価指数）が予想を上振れたことなどから金融引き締めが加速するとの観測が強まり、金利は上昇（債券価格は下落）しました。また、英国で大規模な財政政策が発表され同国の金利が急上昇したことも、世界的な金利上昇圧力となりました。2022年11月には、C P Iが予想を下振れたことで長期のインフレ期待が低下したことや、世界的な景気減速懸念が高まったことなどから、金利は低下しました。12月は、F R Bが2023年末の政策金利見通しを上方修正したことや日銀が想定外の政策修正を行ったことで、世界的な金融引き締めが意識されたことなどから、金利は上昇しました。2023年1月は、米国の雇用統計において賃金の伸びが予想を下回ったことや、物価指数においてインフレ鈍化傾向が確認されたことなどが金利低下材料となり、金利は低下しました。2月には、労働市場をはじめ発表された経済指標が軒並み強い結果となり、さらなる金融引き締め観測が織り込まれたことで金利は上昇に転じ、1月の金利低下が巻き戻される格好となりましたが、3月には米国地方銀行の経営破綻により金融機関をめぐる懸念が高まったことなどから、再び金利低下が進みました。当作成期を通しては、金利はおおむね横ばいとなりました。

### ■ 為替相場

米ドル円為替相場は下落（円高）しました。

米ドルの対円為替相場は、当作成期首より、F R B（米国連邦準備制度理事会）が大幅な金融引き締めを決定したのに対し、日銀は金融緩和政策の維持を決定したことで、円安米ドル高が進行し

ました。これを受けて日本政府・日銀は円買い介入を実施しましたが、米国金利が引き続き上昇し日米金利差が意識されたことで、円安米ドル高基調のまま推移しました。2022年11月に入ると、インフレ率の低下期待などから米国金利が低下したことで日米金利差の縮小が意識され、円高米ドル安に転じました。12月は、日銀が想定外の政策修正を行ったことで金融緩和政策の転換などが意識され、日本の長期金利が大きく上昇するとともに円高米ドル安が進行しました。2023年1月には、日銀が金融緩和政策の維持を決定したことで一時的に円安米ドル高が進行する局面もありましたが、日米金利差の縮小などにより円高米ドル安基調が継続しました。2月に入り、堅調な米国の経済指標を受けて米国金利が大きく上昇したことで、円安米ドル高に転じました。3月は、信用不安の拡大により米国金利が大きく低下したことや、リスク回避による円買い需要の高まりなどから、円高米ドル安となりました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資します。フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

当ファンドでは、世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。当ファンドでは、投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながらも、景気回復局面において優位なパフォーマンスが期待される転換社債や株式などリスク資産の組入比率を高めることを検討してまいります。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

（2022. 9. 21 ～ 2023. 3. 17）

### ■当ファンド

当ファンドは、フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）への投資割合を高位に維持することをめざしました。

### ■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れました。投資適格社債やハイイールド債券などのインカム系資産をポートフォリオの中心としながらも、株式についても一定の組入比率を維持しました。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第23期	第24期	第25期
	2022年9月21日 ～2022年11月17日	2022年11月18日 ～2023年1月17日	2023年1月18日 ～2023年3月17日
<b>当期分配金(税込み) (円)</b>	<b>80</b>	<b>80</b>	<b>80</b>
対基準価額比率 (%)	0.73	0.78	0.78
当期の収益 (円)	80	80	80
当期の収益以外 (円)	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	1,676	1,684	1,692

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

### 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第23期	第24期	第25期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 86.57円	✓ 87.29円	✓ 87.89円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	803.22	823.34	838.70
(d) 分配準備積立金	866.71	853.36	845.74
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,756.51	1,764.01	1,772.34
(f) 分配金	80.00	80.00	80.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,676.51	1,684.01	1,692.34

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資します。フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

当ファンドでは、世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。当ファンドでは、投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながらも、景気回復局面において優位なパフォーマンスが期待される転換社債や株式などリスク資産の組入比率を高めることを検討してまいります。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	第23期～第25期 (2022. 9. 21～2023. 3. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	59円	0.549%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,756円です。
(投 信 会 社)	(17)	(0.161)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(40)	(0.375)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	59	0.553	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

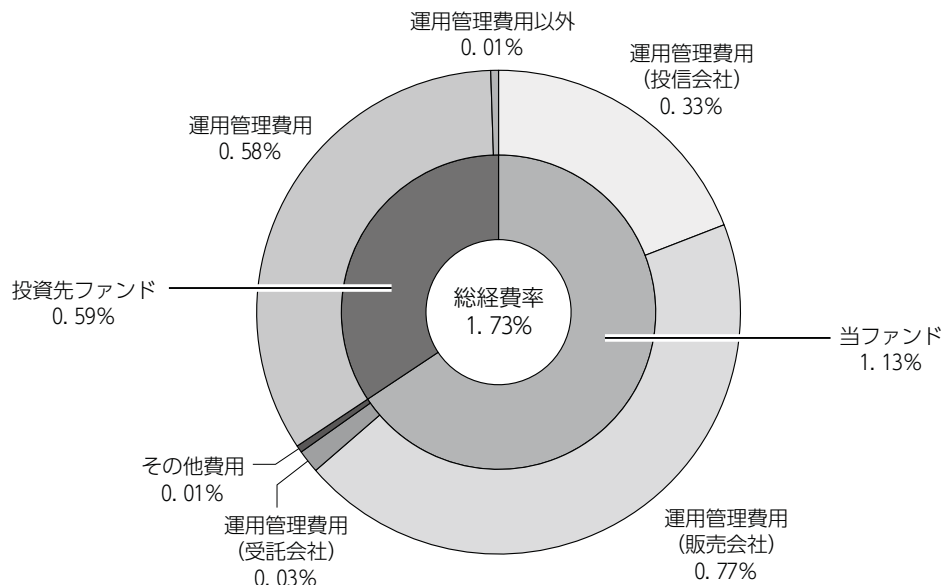
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.73%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.73%
①当ファンドの費用の比率	1.13%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.58%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.01%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。



■売買および取引の状況  
投資信託受益証券

(2022年9月21日から2023年3月17日まで)

決算期	第 23 期 ～ 第 25 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	5,843.945779	581,853	3,052.005722	300,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。  
(注2) 金額は受渡し代金。  
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄  
投資信託受益証券

(2022年9月21日から2023年3月17日まで)

第 23 期 ～ 第 25 期							
買 付				売 付			
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY NON-HEDGED DISTRIBUTION CLASS (ケイマン諸島)	2,863.991694	290,000	101	NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY NON-HEDGED DISTRIBUTION CLASS (ケイマン諸島)	3,052.005722	300,000	98

(注1) 金額は受渡し代金。  
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 25 期 末		
	□ 数	評価額	比率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY NON-HEDGED DISTRIBUTION CLASS	97,920.124788	9,147,404	99.3

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。  
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 22 期 末	第 25 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	737	737	749

(注) 単位未満は切捨て。

# NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／隔月分配型）

## ■投資信託財産の構成

2023年3月17日現在

項 目	第 25 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 9,147,404	% 98.2
ダイワ・マネー・マザーファンド	749	0.0
コール・ローン等、その他	170,638	1.8
投資信託財産総額	9,318,792	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年11月17日)、(2023年1月17日)、(2023年3月17日) 現在

項 目	第23期末	第24期末	第25期末
<b>(A) 資産</b>	<b>9,879,015,804円</b>	<b>9,315,968,527円</b>	<b>9,318,792,045円</b>
コール・ローン等	168,694,457	162,783,578	170,638,076
投資信託受益証券（評価額）	9,709,571,601	9,152,435,277	9,147,404,297
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	749,746	749,672	749,672
<b>(B) 負債</b>	<b>107,049,880</b>	<b>100,934,358</b>	<b>102,956,930</b>
未払収益分配金	72,058,045	72,425,076	72,694,574
未払解約金	16,925,176	10,055,818	12,517,837
未払信託報酬	17,935,446	18,189,197	17,353,307
その他未払費用	131,213	264,267	391,212
<b>(C) 純資産総額（A－B）</b>	<b>9,771,965,924</b>	<b>9,215,034,169</b>	<b>9,215,835,115</b>
元本	9,007,255,668	9,053,134,590	9,086,821,850
次期繰越損益金	764,710,256	161,899,579	129,013,265
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>9,007,255,668口</b>	<b>9,053,134,590口</b>	<b>9,086,821,850口</b>
1万口当り基準価額（C／D）	10,849円	10,179円	10,142円

\* 当作成期首における元本額は8,875,906,666円、当作成期間（第23期～第25期）中における追加設定元本額は665,439,861円、同解約元本額は454,524,677円です。

\* 第25期末の計算口数当りの純資産額は10,142円です。

## ■損益の状況

第23期 自2022年9月21日 至2022年11月17日  
 第24期 自2022年11月18日 至2023年1月17日  
 第25期 自2023年1月18日 至2023年3月17日

項 目	第23期	第24期	第25期
(A) 配当等収益	96,045,047円	97,352,463円	97,346,888円
受取配当金	96,055,582	97,361,873	97,349,457
受取利息	12	39	33
支払利息	△ 10,547	△ 9,449	△ 2,602
(B) 有価証券売買損益	△ 354,365,004	△ 613,438,767	△ 45,718,492
売買益	2,360,731	2,047,168	794,724
売買損	△ 356,725,735	△ 615,485,935	△ 46,513,216
(C) 信託報酬等	△ 18,066,659	△ 18,322,251	△ 17,480,252
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 276,386,616	△ 534,408,555	△ 34,148,144
(E) 前期繰越損益金	780,676,677	424,520,622	△ 179,819,587
(F) 追加信託差損益金	332,478,240	344,212,588	347,379,282
(配当等相当額)	( 723,482,103)	( 745,389,292)	( 762,119,770)
(売買損益相当額)	(△ 391,003,863)	(△ 401,176,704)	(△ 414,740,488)
(G) 合計 (D + E + F)	836,768,301	234,324,655	201,707,839
(H) 収益分配金	△ 72,058,045	△ 72,425,076	△ 72,694,574
次期繰越損益金 (G + H)	764,710,256	161,899,579	129,013,265
追加信託差損益金	332,478,240	344,212,588	347,379,282
(配当等相当額)	( 723,482,103)	( 745,389,292)	( 762,119,770)
(売買損益相当額)	(△ 391,003,863)	(△ 401,176,704)	(△ 414,740,488)
分配準備積立金	786,596,958	779,168,459	775,684,147
繰越損益金	△ 354,364,942	△ 961,481,468	△ 994,050,164

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

## ■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第23期	第24期	第25期
(a) 経費控除後の配当等収益	77,978,326円	79,030,147円	79,866,622円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0
(c) 収益調整金	723,482,103	745,389,292	762,119,770
(d) 分配準備積立金	780,676,677	772,563,388	768,512,099
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	1,582,137,106	1,596,982,827	1,610,498,491
(f) 分配金	72,058,045	72,425,076	72,694,574
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	1,510,079,061	1,524,557,751	1,537,803,917
(h) 受益権総口数	9,007,255,668口	9,053,134,590口	9,086,821,850口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ			
1万口当り分配金（税込み）	第23期	第24期	第25期
	80円	80円	80円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

## 為替ヘッジあり／資産成長型

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			公社債組入率	投資信託比率	純資産額
	(分配落)	税金込	騰落率			
	円	円	%	%	%	百万円
5期末 (2021年3月17日)	10,978	0	2.2	—	99.2	1,050
6期末 (2021年9月17日)	11,432	0	4.1	—	99.3	1,001
7期末 (2022年3月17日)	10,604	0	△ 7.2	—	99.0	907
8期末 (2022年9月20日)	9,703	0	△ 8.5	—	99.3	775
9期末 (2023年3月17日)	9,383	0	△ 3.3	—	98.8	758

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

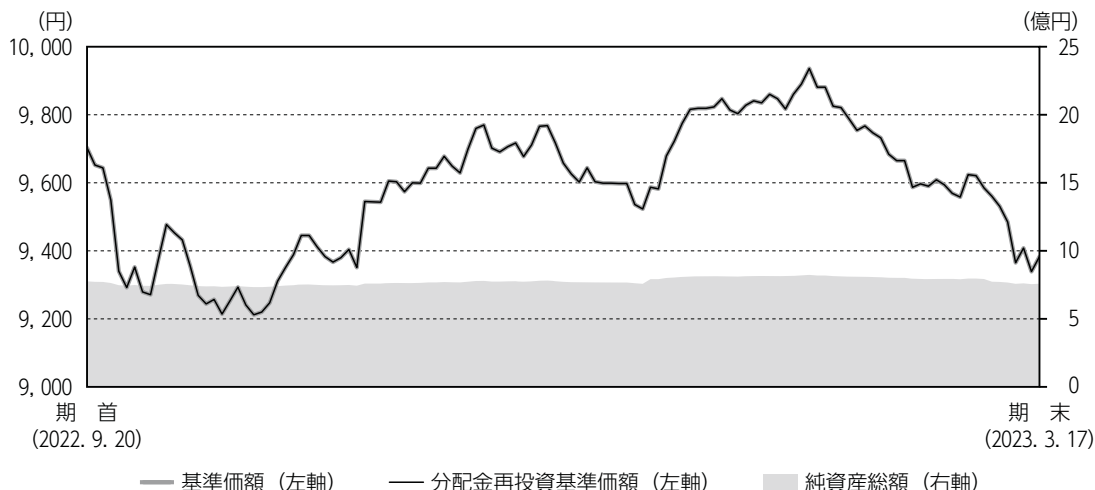
(注3) 公社債組入率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■ 基準価額・騰落率

期首：9,703円

期末：9,383円（分配金0円）

騰落率：△3.3%（分配金込み）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）で保有している投資適格社債やハ

イールド債券などの小幅な下落がマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）：グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブルユー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／資産成長型）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 組 比	債 入 率	投 資 組 入	信 証 比	託 券 率
	騰	落 率					
(期 首) 2022年 9月20日	円 9,703	% —		% —			% 99.3
9 月末	9,279	△ 4.4		—			99.2
10月末	9,445	△ 2.7		—			99.2
11月末	9,629	△ 0.8		—			99.2
12月末	9,536	△ 1.7		—			99.0
2023年 1 月末	9,817	1.2		—			98.9
2 月末	9,609	△ 1.0		—			99.1
(期 末) 2023年 3月17日	9,383	△ 3.3		—			98.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## ■ 海外金融市況

海外金融市場では、株式市場および債券市場ともにおおむね横ばいの動きとなる中、保有している銘柄はそれぞれまちまちな動きとなりました。

海外株式市場は、当作成期首より、予想以上のインフレ率の上昇や英国の財政悪化懸念などで欧米の金利が上昇したこと、企業業績の見通しの下方修正が相次いだことなどが嫌気され、2022年10月半ばにかけて下落しました。11月末にかけては、英国市場の混乱が収束して欧米の金利上昇が一服したことや、米国のインフレ率が予想を下回ったことなどが好感されて上昇しましたが、年末にかけては、米国の景況感や企業業績の悪化が懸念されて下落しました。2023年に入ると、賃金上昇率の伸びが鈍化しF R B（米国連邦準備制度理事会）の利上げペースの減速が期待されたことなどから再び上昇に転じましたが、2月以降は予想を上回る経済指標の発表が相次ぎ金利が上昇したことなどから、当作成期末にかけて株価は下落しました。当作成期を通しては、おおむね横ばいの動きとなりました。

海外債券市場は、当作成期首より、堅調な労働市場に加えてC P I（消費者物価指数）が予想を上振れたことなどから金融引き締めが加速するとの観測が強まり、金利は上昇（債券価格は下落）しました。また、英国で大規模な財政政策が発表され同国の金利が急上昇したことも、世界的な金利上昇圧力となりました。2022年11月には、C P Iが予想を下振れたことで長期のインフレ期待が低下したことや、世界的な景気減速懸念が高まったことなどから、金利は低下しました。12月は、F R Bが2023年末の政策金利見通しを上方修正したことや日銀が想定外の政策修正を行ったことで、世界的な金融引き締めが意識されたことなどから、金利は上昇しました。2023年1月は、米国の雇用統計において賃金の伸びが予想を下回ったことや、物価指数においてインフレ鈍化傾向が確認されたことなどが金利低下材料となり、金利は低下しました。2月には、労働市場をはじめ発表された経済指標が軒並み強い結果となり、さらなる金融引き締め観測が織り込まれたことで金利は上昇に転じ、1月の金利低下が巻き戻される格好となりましたが、3月には米国地方銀行の経営破綻により金融機関をめぐる懸念が高まったことなどから、再び金利低下が進みました。当作成期を通しては、金利はおおむね横ばいとなりました。



## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資します。フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

当ファンドでは、世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。当ファンドでは、投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながらも、景気回復局面において優位なパフォーマンスが期待される転換社債や株式などリスク資産の組入比率を高めることを検討してまいります。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

（2022. 9. 21 ~ 2023. 3. 17）

### ■当ファンド

当ファンドは、フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）への投資割合を高位に維持することをめざしました。

### ■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れました。投資適格社債やハイイールド債券などのインカム系資産をポートフォリオの中心としながらも、株式についても一定の組入比率を維持しました。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

## ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当作成期は、信託財産の成長を考慮し、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

## ■分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当 期	
	2022年 9月21日	2023年 3月17日
<b>当期分配金（税込み）</b>	<b>(円)</b>	<b>—</b>
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	1,596

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資します。フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

当ファンドでは、世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。当ファンドでは、投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながらも、景気回復局面において優位なパフォーマンスが期待される転換社債や株式などリスク資産の組入比率を高めることを検討してまいります。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2022. 9. 21～2023. 3. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	53円	0.550%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,586円です。
(投 信 会 社)	(15)	(0.161)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(36)	(0.375)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	53	0.554	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

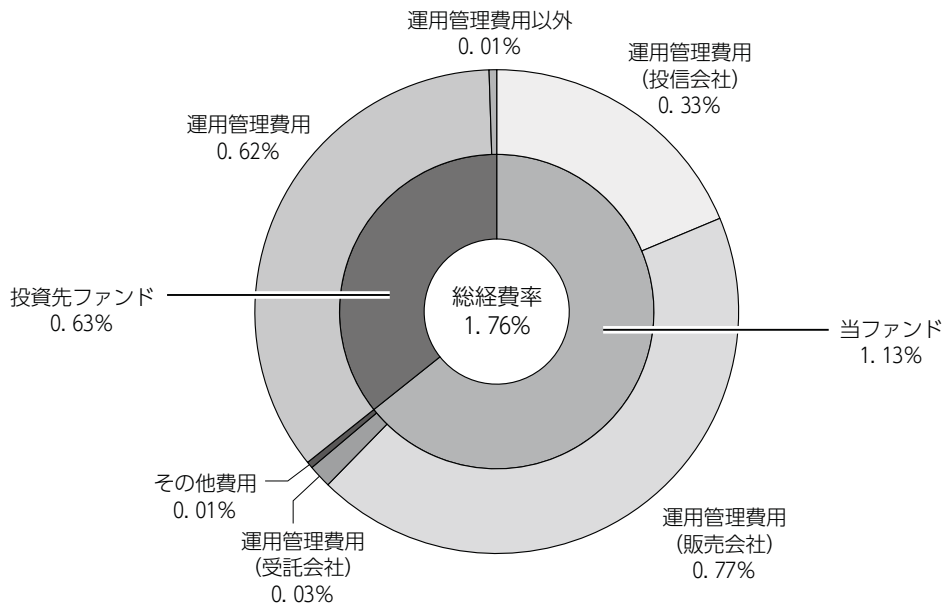
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

## ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.76%です。



総経費率 ( ① + ② + ③ )	1.76%
①当ファンドの費用の比率	1.13%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.62%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.01%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／資産成長型）

### ■売買および取引の状況

#### 投資信託受益証券

（2022年9月21日から2023年3月17日まで）

	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 （邦貨建）	千口 465.896511	千円 38,804	千口 302.679468	千円 25,000

（注1）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

（注2）金額は受渡し代金。

（注3）金額の単位未満は切捨て。

### ■主要な売買銘柄

#### 投資信託受益証券

（2022年9月21日から2023年3月17日まで）

当 期				当 期			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY HEDGED DISTRIBUTION CLASS（ケイマン諸島）	千口 299.871655	千円 25,000	円 83	NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY HEDGED DISTRIBUTION CLASS（ケイマン諸島）	千口 302.679468	千円 25,000	円 82

（注1）金額は受渡し代金。

（注2）金額の単位未満は切捨て。

### ■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

### ■組入資産明細表

#### (1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファ ン ド 名	当 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY HEDGED DISTRIBUTION CLASS	千口 9,238.990815	千円 748,940	% 98.8

（注1）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

（注2）評価額の単位未満は切捨て。

#### (2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネー・ マザーファンド	千口 95	千口 95	千円 96

（注）単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2023年3月17日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	748,940	98.1
ダイワ・マネー・マザーファンド	96	0.0
コール・ローン等、その他	14,489	1.9
投資信託財産総額	763,526	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年3月17日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>763,526,342円</b>
コール・ローン等	14,489,202
投資信託受益証券（評価額）	748,940,312
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	96,828
<b>(B) 負債</b>	<b>5,218,026</b>
未払解約金	921,830
未払信託報酬	4,265,074
その他未払費用	31,122
<b>(C) 純資産総額（A－B）</b>	<b>758,308,316</b>
元本	808,183,976
次期繰越損益金	△ 49,875,660
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>808,183,976口</b>
1万口当り基準価額（C／D）	9,383円

\* 期首における元本額は799,563,513円、当作成期間中における追加設定元本額は44,710,407円、同解約元本額は36,089,944円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,383円です。

\* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は49,875,660円です。

## ■損益の状況

当期 自2022年9月21日 至2023年3月17日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>13,567,035円</b>
受取配当金	13,568,991
受取利息	4
支払利息	△ 1,960
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>34,410,846</b>
売買益	855,940
売買損	△ 35,266,786
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>4,296,196</b>
<b>(D) 当期損益金（A＋B＋C）</b>	<b>25,140,007</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>67,728,673</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>42,993,020</b>
（配当等相当額）	（ 47,739,900）
（売買損益相当額）	（△ 4,746,880）
<b>(G) 合計（D＋E＋F）</b>	<b>49,875,660</b>
次期繰越損益金（G）	△ 49,875,660
追加信託差損益金	42,993,020
（配当等相当額）	（ 47,739,900）
（売買損益相当額）	（△ 4,746,880）
分配準備積立金	81,308,681
繰越損益金	△ 174,177,361

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

## ■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	9,270,839円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	47,739,900
(d) 分配準備積立金	72,037,842
(e) 当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	129,048,581
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額（e－f）	129,048,581
(h) 受益権総口数	808,183,976口

## 為替ヘッジなし／資産成長型

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			公社債組入率	投資信託比率	純資産額
	(分配落)	税金込	騰落率			
	円	円	%	%	%	百万円
5期末 (2021年3月17日)	11,185	0	6.7	—	99.1	1,172
6期末 (2021年9月17日)	11,747	0	5.0	—	99.1	1,411
7期末 (2022年3月17日)	11,801	0	0.5	—	99.1	1,765
8期末 (2022年9月20日)	13,151	0	11.4	—	99.2	2,282
9期末 (2023年3月17日)	12,140	0	△ 7.7	—	99.0	2,253

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注3) 公社債組入率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

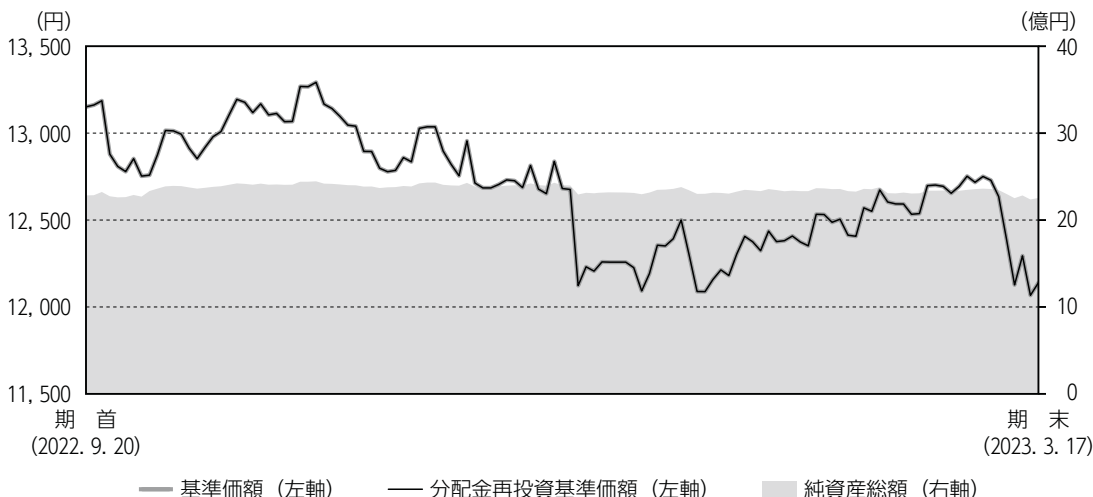
(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。





## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

期首：13,151円

期末：12,140円（分配金0円）

騰落率：△7.7%（分配金込み）

#### 基準価額の主な変動要因

フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）で保有している投資適格社債やハイイールド債券などが下落したことに加え、

円高米ドル安が進んだことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）：グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／資産成長型）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 組 比	債 入 率	投 資 組 入	信 証 比	託 券 率
	円	騰 落 率					
(期 首) 2022年 9月20日	13,151	—		—			99.2
9 月末	12,753	△ 3.0		—			99.2
10月末	13,268	0.9		—			99.2
11月末	12,755	△ 3.0		—			98.3
12月末	12,226	△ 7.0		—			99.3
2023年 1 月末	12,381	△ 5.9		—			99.2
2 月末	12,701	△ 3.4		—			99.2
(期 末) 2023年 3月17日	12,140	△ 7.7		—			99.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2022. 9. 21 ~ 2023. 3. 17)

### ■ 海外金融市況

海外金融市場では、株式市場および債券市場ともにおおむね横ばいの動きとなる中、保有している銘柄はそれぞれまちまちな動きとなりました。

海外株式市場は、当作成期首より、予想以上のインフレ率の上昇や英国の財政悪化懸念などで欧米の金利が上昇したこと、企業業績の見通しの下方修正が相次いだことなどが嫌気され、2022年10月半ばにかけて下落しました。11月末にかけては、英国市場の混乱が収束して欧米の金利上昇が一服したことや、米国のインフレ率が予想を下回ったことなどが好感されて上昇しましたが、年末にかけては、米国の景況感や企業業績の悪化が懸念されて下落しました。2023年に入ると、賃金上昇率の伸びが鈍化しF R B（米国連邦準備制度理事会）の利上げペースの減速が期待されたことなどから再び上昇に転じましたが、2月以降は予想を上回る経済指標の発表が相次ぎ金利が上昇したことなどから、当作成期末にかけて株価は下落しました。当作成期を通しては、おおむね横ばいの動きとなりました。

海外債券市場は、当作成期首より、堅調な労働市場に加えてC P I（消費者物価指数）が予想を上振れたことなどから金融引き締めが加速するとの観測が強まり、金利は上昇（債券価格は下落）しました。また、英国で大規模な財政政策が発表され同国の金利が急上昇したことも、世界的な金利上昇圧力となりました。2022年11月には、C P Iが予想を下振れたことで長期のインフレ期待が低下したことや、世界的な景気減速懸念が高まったことなどから、金利は低下しました。12月は、F R Bが2023年末の政策金利見通しを上方修正したことや日銀が想定外の政策修正を行ったことで、世界的な金融引き締めが意識されたことなどから、金利は上昇しました。2023年1月は、米国の雇用統計において賃金の伸びが予想を下回ったことや、物価指数においてインフレ鈍化傾向が確認されたことなどが金利低下材料となり、金利は低下しました。2月には、労働市場をはじめ発表された経済指標が軒並み強い結果となり、さらなる金融引き締め観測が織り込まれたことで金利は上昇に転じ、1月の金利低下が巻き戻される格好となりましたが、3月には米国地方銀行の経営破綻により金融機関をめぐる懸念が高まったことなどから、再び金利低下が進みました。当作成期を通しては、金利はおおむね横ばいとなりました。

### ■ 為替相場

米ドル円為替相場は下落（円高）しました。

米ドルの対円為替相場は、当作成期首より、F R B（米国連邦準備制度理事会）が大幅な金融引き締めを決定したのに対し、日銀は金融緩和政策の維持を決定したことで、円安米ドル高が進行し

ました。これを受けて日本政府・日銀は円買い介入を実施しましたが、米国金利が引き続き上昇し日米金利差が意識されたことで、円安米ドル高基調のまま推移しました。2022年11月に入ると、インフレ率の低下期待などから米国金利が低下したことで日米金利差の縮小が意識され、円高米ドル安に転じました。12月は、日銀が想定外の政策修正を行ったことで金融緩和政策の転換などが意識され、日本の長期金利が大きく上昇するとともに円高米ドル安が進行しました。2023年1月には、日銀が金融緩和政策の維持を決定したことで一時的に円安米ドル高が進行する局面もありましたが、日米金利差の縮小などにより円高米ドル安基調が継続しました。2月に入り、堅調な米国の経済指標を受けて米国金利が大きく上昇したことで、円安米ドル高に転じました。3月は、信用不安の拡大により米国金利が大きく低下したことや、リスク回避による円買い需要の高まりなどから、円高米ドル安となりました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資します。フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

当ファンドでは、世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。当ファンドでは、投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながらも、景気回復局面において優位なパフォーマンスが期待される転換社債や株式などリスク資産の組入比率を高めることを検討してまいります。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2022. 9. 21 ~ 2023. 3. 17)

### ■当ファンド

当ファンドは、フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）への投資割合を高位に維持することをめざしました。

### ■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れました。投資適格社債やハイイールド債券などのインカム系資産をポートフォリオの中心としながらも、株式についても一定の組入比率を維持しました。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当作成期は、信託財産の成長を考慮し、収益分配を見送らせていただきました。  
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2022年9月21日 ～2023年3月17日	
<b>当期分配金（税込み）</b>	<b>（円）</b>	<b>—</b>
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	3,513

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資します。フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

当ファンドでは、世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。当ファンドでは、投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながらも、景気回復局面において優位なパフォーマンスが期待される転換社債や株式などリスク資産の組入比率を高めることを検討してまいります。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2022. 9. 21～2023. 3. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	70円	0.550%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は12,674円です。
(投 信 会 社)	(20)	(0.161)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(48)	(0.375)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	70	0.554	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

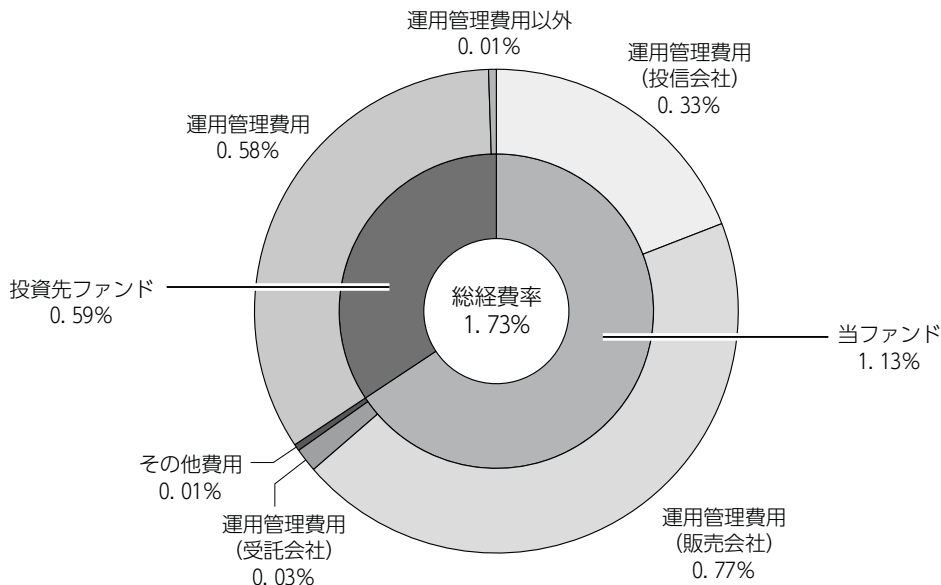
(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。



## 参考情報

## ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.73%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.73%
①当ファンドの費用の比率	1.13%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.58%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.01%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／資産成長型）

### ■売買および取引の状況

#### 投資信託受益証券

（2022年9月21日から2023年3月17日まで）

	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 （邦貨建）	千□ 3,064.667575	千円 306,054	千□ 977.246846	千円 95,000

（注1）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

（注2）金額は受渡し代金。

（注3）金額の単位未満は切捨て。

### ■主要な売買銘柄

#### 投資信託受益証券

（2022年9月21日から2023年3月17日まで）

当 期				当 期			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY NON-HEDGED DISTRIBUTION CLASS (ケイマン諸島)	千□ 2,339.058877	千円 235,000	円 100	NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY NON-HEDGED DISTRIBUTION CLASS (ケイマン諸島)	千□ 977.246846	千円 95,000	円 97

（注1）金額は受渡し代金。

（注2）金額の単位未満は切捨て。

### ■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

### ■組入資産明細表

#### (1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	□ 数	評価額	比率
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY NON-HEDGED DISTRIBUTION CLASS	千□ 23,894.888305	千円 2,232,188	% 99.0

（注1）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

（注2）評価額の単位未満は切捨て。

#### (2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千□ 337	千□ 337	千円 343

（注）単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2023年3月17日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	2,232,188	98.2
ダイワ・マネー・マザーファンド	343	0.0
コール・ローン等、その他	39,484	1.8
投資信託財産総額	2,272,016	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年3月17日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>2,272,016,277円</b>
コール・ローン等	39,484,105
投資信託受益証券（評価額）	2,232,188,780
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	343,392
<b>(B) 負債</b>	<b>18,248,501</b>
未払解約金	5,191,332
未払信託報酬	12,962,412
その他未払費用	94,757
<b>(C) 純資産総額（A－B）</b>	<b>2,253,767,776</b>
元本	1,856,476,173
次期繰越損益金	397,291,603
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>1,856,476,173口</b>
1万口当り基準価額（C／D）	12,140円

\* 期首における元本額は1,735,860,081円、当作成期間中における追加設定元本額は282,391,806円、同解約元本額は161,775,714円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は12,140円です。

## ■損益の状況

当期 自2022年9月21日 至2023年3月17日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>68,223,428円</b>
受取配当金	68,230,531
受取利息	19
支払利息	△ 7,122
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>232,696,759</b>
売買益	10,809,199
売買損	△ 243,505,958
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>13,057,169</b>
△	
<b>(D) 当期損益金（A＋B＋C）</b>	<b>177,530,500</b>
△	
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>297,925,251</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>276,896,852</b>
（配当等相当額）	（ 299,184,793）
（売買損益相当額）	（△ 22,287,941）
<b>(G) 合計（D＋E＋F）</b>	<b>397,291,603</b>
<b>次期繰越損益金（G）</b>	<b>397,291,603</b>
追加信託差損益金	276,896,852
（配当等相当額）	（ 299,184,793）
（売買損益相当額）	（△ 22,287,941）
分配準備積立金	353,091,510
繰越損益金	△ 232,696,759

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

## ■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	55,166,259円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	299,184,793
(d) 分配準備積立金	297,925,251
(e) 当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	652,276,303
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額（e－f）	652,276,303
(h) 受益権総口数	1,856,476,173口

## フレキシブル・インカム・ファンド (円ヘッジ・クラス／ヘッジなし・クラス)

当ファンド (NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり／隔月分配型) (為替ヘッジなし／隔月分配型) (為替ヘッジあり／資産成長型) (為替ヘッジなし／資産成長型) ) はケイマン籍の外国投資信託「グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド (円ヘッジ・クラス／ヘッジなし・クラス) 」を主要投資対象としております。以下の内容は、直近で入手可能な Financial Statements 等から抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

## 財政状態計算書

2021年12月31日

US\$

## 資産

現金および現金同等物	49,591,482
ブローカーからの預託貸越	58,583
金融資産 (損益通算後の評価額)	2,529,547,436
発行済み受益証券の未収金	24,902,740
受取勘定	29,028,652

## 資産合計

2,633,128,893

## 負債

金融負債 (損益通算後の評価額)	1,639,606
償還済み受益証券の未払	43,420
購入済み投資の未払	271,843
未払手数料	1,686,841

## 負債合計 (償却可能参加型受益証券の保有者に帰属する純資産を除く)

3,641,710

## 償却可能参加型受益証券の保有者に帰属する純資産

2,629,487,183

## 包括利益計算書

2021年12月31日に終了した年度

US\$

## 投資収益

金融資産（損益通算後の評価額）からの配当収益	23,077,088
現金および現金同等物からの受取利息	3,844
債券（損益通算後の評価額）からの受取利息	78,737,779
純外国為替損失	(67,187)
金融資産（損益通算後の評価額）からの純利益	9,140,420

## 投資収益合計

110,891,944

## 費用

受託会社報酬	223,006
運用会社報酬	10,947,209
運用実績報酬	67,985
管理会社報酬	892,015
保管会社報酬	614,936
為替運用会社報酬	155,843
為替計算代理人報酬	24,870
監査報酬	29,802
逆イールド費用	1
その他の報酬・費用	99,324

## 営業費用合計

13,054,991

## 金融費用控除前営業利益

97,836,953

## 金融費用

分配金	(100,754,791)
-----	---------------

## 金融費用合計

(100,754,791)

## 償却可能参加型受益証券の保有者に帰属する純資産の増減（税引前）

(2,917,838)

## 源泉徴収税

(9,018,215)

## 償却可能参加型受益証券の保有者に帰属する純資産の増減（税引後）

(11,936,053)

投資明細表  
2021年12月31日

銘柄名	評価額 (US \$)	純資産に 占める 割合(%)	銘柄名	評価額 (US \$)	純資産に 占める 割合(%)
<b>ハイ・イールド社債</b>			GOODYEAR TIRE GT 5 1/4 07/15/31	35,061,971	1.34
<b>カナダ</b>			GREYSTAR REAL ES GRSTAR 5 3/4 12/01/25	9,031,846	0.34
ALGONQUIN POWER AQNCN 6.2 07/01/2079	12,255,422	0.47	HARSCO CORP HSC 5 3/4 07/31/27	16,581,602	0.63
AUTOMATION TOOLI ATACN 4 1/8 12/15/28	12,323,960	0.47	HAT HOLDINGS I HASI 6 04/15/25	9,047,670	0.34
EMERA INC EMACN 6 3/4 06/15/2076	37,814,942	1.44	HEALTHSOUTH CORP EHC 5 3/4 09/15/25	2,243,091	0.09
<b>フランス</b>			IRON MOUNTAIN IRM 4 7/8 09/15/29	12,670,710	0.48
CONSTELLIUM SE CSTM 3 3/4 04/15/29	6,669,933	0.25	LIBERTY MEDIA LINTA 8 1/2 07/15/29	13,081,718	0.50
<b>英国</b>			LIBERTY MEDIA LINTA 8 1/4 02/01/30	4,708,364	0.18
CLAR SCI HLD CRP CLVTSC 3 7/8 07/01/28	6,784,477	0.26	MEDNAX INC MD 6 1/4 01/15/27	32,536,977	1.24
<b>米国</b>			MOLINA HEALTHCAR MOH 3 7/8 11/15/30	7,698,504	0.29
ADIANT US LLC ADNT 9 04/15/25	12,577,845	0.48	NCR CORP NCR 5 1/4 10/01/30	21,427,509	0.82
ALBERTSONS COS ACI 7 1/2 03/15/26	21,254,502	0.81	NCR CORP NCR 5 1/8 04/15/29	11,976,923	0.46
ALLIANCE DATA ADS 4 3/4 12/15/24	11,860,317	0.45	NEXSTAR BROADC NXST 4 3/4 11/01/28	2,849,000	0.11
ALLIANCE DATA ADS 7 01/15/26	5,192,464	0.20	NEXSTAR BROADCAST NXST 5 5/8 07/15/27	29,458,568	1.12
AMER AXLE & MFG AXL 6 1/2 04/01/27	11,420,375	0.43	ROLLER BEARING ROLL 4 3/8 10/15/29	15,051,344	0.57
AMKOR TECH INC AMKR 6 5/8 09/15/27	24,425,204	0.93	SEAGATE HDD CAYM STX 4 7/8 06/01/27	14,276,422	0.54
ASHLAND INC ASH 6 7/8 05/15/43	16,404,950	0.62	SEAGATE HDD CAYM STX 4.091 06/01/29	10,194,726	0.39
AVANTOR FUNDING AVTR 4 5/8 07/15/28	14,936,123	0.57	SEALED AIR CORP SEE 6 7/8 07/15/33	28,849,745	1.10
AVAYA INC AVYA 6 1/8 09/15/28	12,181,792	0.46	SEG HLD/SEG FIN SEGHLD 5 5/8 10/15/28	14,002,819	0.53
BATH & BODY WORKS INC 6.875 11/01/2035	26,027,159	0.99	SIRIUS XM RADIO SIRI 4 07/15/28	15,169,509	0.58
CCO HOLDINGS LLC CHTR 5 1/8 05/01/27	11,917,266	0.45	SS&C TECH INC SSNC 5 1/2 09/30/27	11,356,732	0.43
CENTURYLINK INC LUMN 7.65 03/15/42	5,976,493	0.23	STEVENS HOLDING AIMC 6 1/8 10/01/26	19,075,518	0.73
CNF INC CNW 6.7 05/01/34	16,118,690	0.61	TENET HEALTHCARE THC 4 1/4 06/01/29	19,351,411	0.74
DANA FIN LUX SAR DAN 5 3/4 04/15/25	5,593,800	0.21	TENET HEALTHCARE THC 7 1/2 04/01/25	5,139,618	0.20
DANA INC DAN 4 1/4 09/01/30	13,003,146	0.50	TR OP / TR FIN TSE 5 3/8 09/01/25	28,542,956	1.09
DISCOVER FIN SVS DFS 6 1/8 PERP	10,497,848	0.40	TRIPADVISOR INC TRIP 7 07/15/25	27,899,548	1.06
DISH DBS CORP DISH 5 1/8 06/01/29	7,977,013	0.30	UNITED RENTAL NA URI 5 1/4 01/15/30	12,743,746	0.49
DISH DBS CORP DISH 7 3/4 07/01/26	9,242,188	0.35	US CELLULAR CORP USM 6 1/4 09/01/69	9,129,990	0.35
DISH DBS CORP DISH 7 3/8 07/01/28	12,959,781	0.49	VIASAT INC VSAT 5 5/8 04/15/27	16,745,840	0.64
EMBARQ CORP LUMN 7.995 06/01/36	3,346,188	0.13	VIASAT INC VSAT 5 5/8 09/15/25	4,556,169	0.17
EMERGENT BIOSOLU EBS 3 7/8 08/15/28	12,818,349	0.49	VISTRA OPERATION VST 5 07/31/27	21,758,180	0.83
ENCOMPASS HLTH EHC 4 3/4 02/01/30	6,239,962	0.24	XPO LOGISTICS XPO 6 1/4 05/01/25	8,242,000	0.31
ENCOMPASS HLTH EHC 4 5/8 04/01/31	5,912,993	0.23	<b>転換社債</b>		
ENSTAR FINANCE ESGR 5 3/4 09/01/40	10,041,995	0.38	<b>米国</b>		
ENTEGRIS INC ENTG 4 3/8 04/15/28	7,890,599	0.30	AVANTOR INC AVTR 6 1/4 05/15/22	42,510,090	1.62
ENVIVA PRTRNS EVA 6 1/2 01/15/26	18,876,307	0.72	BANK OF AMER CRP BAC 7 1/4 PERP	17,422,852	0.66
GAP INC/THE GPS 3 5/8 10/01/29	15,073,343	0.57	BROADCOM INC AVGO 8 09/30/22	40,055,027	1.53
GAP INC/THE GPS 3 7/8 10/01/31	14,522,064	0.55	CHANGE HEALTHCAR CHNG 6 06/30/22	22,068,294	0.84
GCI LLC GCILLC 4 3/4 10/15/28	17,747,293	0.68	CITIGROUP GLOBAL C 14 02/24/22	9,302,472	0.35
			CLARIVATE PLC CLVT 5 1/4 06/01/24	7,077,994	0.27
			DOMINATION ENERGY D 7 1/4 06/01/22	19,858,788	0.76
			JP MORGAN CHASE JPM 0 06/15/22	12,972,277	0.49

銘柄名	評価額 (US\$)	純資産に 占める 割合(%)	銘柄名	評価額 (US\$)	純資産に 占める 割合(%)
LIBERTY MEDIA LINTA 3 3/4 02/15/30	6, 619, 125	0. 25	NEXTERA ENERGY NEE 5. 65 05/01/2079	22, 646, 151	0. 86
LIBERTY MEDIA LINTA 4 11/15/29	16, 593, 567	0. 63	NORDSTROM INC JWN 5 01/15/44	23, 573, 556	0. 90
MER LYNCH INT CV BAC 0. 14 04/19/22	9, 794, 667	0. 37	OFFICE PTY INCO OPI 4 1/2 02/01/25	4, 247, 875	0. 16
MER LYNCH INT CV BAC 10 01/25/22	21, 577, 594	0. 82	PHILLIPS 66 PSX 4. 65 11/15/34	13, 612, 239	0. 52
NEXTERA ENERGY NEE 4. 872 09/01/22	10, 240, 736	0. 39	RAYMOND JAMES RJF 4. 95 07/15/46	5, 182, 125	0. 20
NEXTERA ENERGY NEE 6. 219 09/01/23	23, 398, 536	0. 89	VIACOM INC VIAC 6 7/8 04/30/36	52, 113, 645	1. 98
STANLEY BLACK SWK 5 1/4 11/15/22	13, 605, 074	0. 52	VMWARE INC VMW 4. 7 05/15/30	23, 982, 204	0. 91
WELLS FARGO CO WFC 7 1/2 PERP	28, 199, 337	1. 07			
<b>投資適格社債</b>			<b>普通株式</b>		
<b>カナダ</b>			<b>英国</b>		
TRANSCANADA TRUS TRPCN 5 7/8 08/15/2076	16, 051, 600	0. 61	ASTRAZENECA PLC-SPONS ADR	6, 454, 100	0. 25
<b>フランス</b>			BHP GROUP PLC-ADR	6, 730, 102	0. 26
ARCELORMITTAL MTNA 7 10/15/39	12, 775, 800	0. 49	ROYAL DUTCH SHELL-SPON AD	6, 134, 025	0. 23
<b>ペルー</b>			<b>日本</b>		
SOUTHERN COPPER SCCO 5 7/8 04/23/45	14, 469, 250	0. 55	NINTENDO CO LTD-UNSPONS A	6, 539, 981	0. 25
<b>ベルギー</b>			<b>米国</b>		
ANHEUSER-BUSCH ABIBB 4. 9 02/01/46	17, 063, 870	0. 65	APPLIED MATERIALS INC	13, 674, 584	0. 52
ANHEUSER-BUSCH ABIBB 4. 9 02/01/46	9, 536, 310	0. 36	Applied Materials Inc Call 180. 000000 20220318	-144, 305	-0. 01
<b>英国</b>			ARES CAPITAL CORP	10, 953, 111	0. 42
ASHTREAD CAPITAL AHTLN 4 05/01/28	12, 150, 050	0. 46	BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	13, 342, 900	0. 51
<b>米国</b>			CIGNA CORP	13, 410, 392	0. 51
ALEXANDRIA REAL ARE 4. 7 07/01/30	4, 262, 940	0. 16	CISCO SYSTEMS INC	14, 207, 554	0. 54
ALLY FINANCIAL ALLY 5 3/4 11/20/25	12, 376, 066	0. 47	DUPONT DE NEMOURS INC	13, 789, 146	0. 53
ALTRIA GROUP INC MO 5. 8 02/14/39	20, 960, 698	0. 80	ENTERGY CORP	12, 706, 920	0. 48
ARES FIN III LLC ARES 4 1/8 06/30/51	14, 053, 074	0. 54	GENERAL DYNAMICS CORP	12, 945, 987	0. 49
BROADCOM INC AVGO 3. 187 11/15/36	21, 249, 405	0. 81	HEALTHCARE REALTY TRUST I	6, 676, 040	0. 25
CENTENE CORP CNC 4 5/8 12/15/29	12, 939, 174	0. 49	HEWLETT PACKARD ENTERPRIS	13, 760, 902	0. 52
CHARTER COMM OPT CHTR 6. 484 10/23/45	27, 632, 476	1. 05	KNIGHT-SWIFT TRANSPORTATI	10, 152, 604	0. 39
CHENIERE CORP CH CHCOCH 5 1/8 06/30/27	4, 626, 686	0. 18	MCDONALD'S CORP	13, 751, 991	0. 52
CIT GROUP INC CIT 5 08/01/23	6, 085, 521	0. 23	MEDTRONIC PLC	14, 431, 275	0. 55
CITIGROUP INC C 4 PERP	9, 138, 992	0. 35	MORGAN STANLEY	6, 370, 584	0. 24
CON EDISON CO ED 3. 95 04/01/50	10, 802, 554	0. 41	NEXTERA ENERGY PARTNERS L	13, 406, 096	0. 51
DELL INT / EMC DELL 6. 02 06/15/26	13, 085, 563	0. 50	NVENT ELECTRIC PLC	9, 829, 346	0. 37
DOMINION ENERGY D 4. 35 PERP	10, 895, 041	0. 41	QUALCOMM INC	9, 948, 128	0. 38
EDISON INTL EIX 5 3/4 06/15/27	8, 513, 203	0. 32	SEMPRA ENERGY	12, 150, 844	0. 46
GENERAL MOTORS C GM 6. 6 04/01/36	42, 521, 215	1. 62	TENET HEALTHCARE CORP	12, 662, 685	0. 48
GMAC LLC ALLY 8 11/01/31	12, 895, 846	0. 49	VALERO ENERGY CORP	11, 859, 869	0. 45
HCA INC HCA 5 1/8 06/15/39	11, 752, 011	0. 45	WALMART INC	15, 626, 520	0. 60
HCA INC HCA 5 7/8 05/01/23	9, 323, 026	0. 36	WELLS FARGO & CO	9, 466, 454	0. 36
HP ENTERPRISE HPE 6. 35 10/15/45	67, 092, 151	2. 55			
LIBERTY MUTUAL LIBMUT 7. 8 03/15/37	4, 808, 206	0. 18	<b>優先証券</b>		
MCDONALD'S CORP MCD 4 7/8 12/09/45	32, 287, 406	1. 23	<b>英国</b>		
			LLOYDS BANK PLC LLOYDS 12 PERP	2, 948, 430	0. 11
			<b>米国</b>		
			ALLY FINANCIAL ALLY 4. 7 PERP	33, 632, 810	1. 28
			ALLY FINANCIAL ALLY 4. 7 PERP	11, 430, 781	0. 44

# NWQグローバル厳選証券ファンド

銘柄名	評価額 (US \$)	純資産に 占める 割合(%)
AMERICAN EXPRESS AXP 3.55 PERP	14,073,055	0.54
ATHENE HOLDING ATH 6 3/8 PERP	12,275,864	0.47
ATHENE HOLDING ATH 6.35 PERP	6,802,677	0.26
BANK OF AMER CRP BAC 6 1/2 PERP	8,226,851	0.31
BANK OF AMER CRP BAC 6 1/4 PERP	7,400,625	0.28
BANK OF AMER CRP BAC 6.1 PERP	11,192,145	0.43
BANK OF AMER CRP BAC 6.3 PERP	7,181,267	0.27
CAPITAL ONE FINL COF 3.95 PERP	9,049,418	0.34
CAPITAL ONE FINL COF 5 PERP	7,885,900	0.30
CHARLES SCHWAB SCHW 5 3/8 PERP	23,128,534	0.88
CHS INC CHSINC 6 3/4 PERP	7,603,173	0.29
CHS INC CHSINC 7 7/8 PERP	7,557,828	0.29
CHS INC CHSINC 7.1 PERP	5,055,715	0.19
CIT GROUP INC CIT 5.8 PERP	9,990,502	0.38
CITIGROUP INC C 5.95 PERP	6,088,456	0.23
CITIGROUP INC C 6 1/4 PERP	20,186,950	0.77
CITIGROUP INC C 7 1/8 PERP	9,593,155	0.37
EDISON INTL EIX 5 PERP	16,329,113	0.62
ENSTAR GROUP LTD ESGR 7 PERP	6,976,781	0.27
GEN MOTORS FIN GM 5.7 PERP	13,206,431	0.50
GEN MOTORS FIN GM 6 1/2 PERP	6,538,799	0.25
GOLDMAN SACHS GP GS 3.65 PERP	8,798,234	0.34
GOLDMAN SACHS GP GS 4.95 PERP	2,219,464	0.08
GOLDMAN SACHS GP GS 5.3 PERP	6,851,615	0.26
JPMORGAN CHASE JPM 6 3/4 PERP	28,066,880	1.07
JPMORGAN CHASE JPM 6.1 PERP	8,588,756	0.33
LAND O'LAKES INC LLAKES 7 1/4 PERP	1,891,264	0.07
LAND O'LAKES INC LLAKES 7 PERP	907,894	0.03
M&T BANK CORP MTB 5 1/8 PERP	2,572,786	0.10
MORGAN STANLEY MS 5 7/8 PERP	2,948,467	0.11
MORGAN STANLEY MS 6 7/8 PERP	2,175,318	0.08
MORGAN STANLEY MS 7 1/8 PERP	6,579,318	0.25
NATIONAL STORAGE NSA 6 PERP	5,765,593	0.22
PNC FINANCIAL PNC 6 1/8 PERP	2,008,235	0.08
PNC FINANCIAL PNC Float PERP	10,070,625	0.38
SEMPRA ENERGY SRE 4 7/8 PERP	15,436,622	0.59
SYNCHRONY FINANC SYF 5 5/8 PERP	8,520,652	0.32
VISTRA CORP VST 7 PERP	9,661,247	0.37
VISTRA CORP VST 8 PERP	30,405,206	1.16
WELLS FARGO CO WFC 5 7/8 PERP	13,568,427	0.52
WESTERN ALLIANCE WAL 4 1/4 PERP	13,320,080	0.51
ZIONS BANCORP ZION 7.2 PERP	814,650	0.03



<補足情報>

当ファンド（NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）（為替ヘッジなし／隔月分配型）（為替ヘッジあり／資産成長型）（為替ヘッジなし／資産成長型））が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2022年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、2023年3月17日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄

2022年9月21日～2023年3月17日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2023年3月17日現在、有価証券等の組み入れはありません。

# ダイワ・マネー・マザーファンド

## 運用報告書 第18期 (決算日 2022年12月9日)

(作成対象期間 2021年12月10日～2022年12月9日)

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

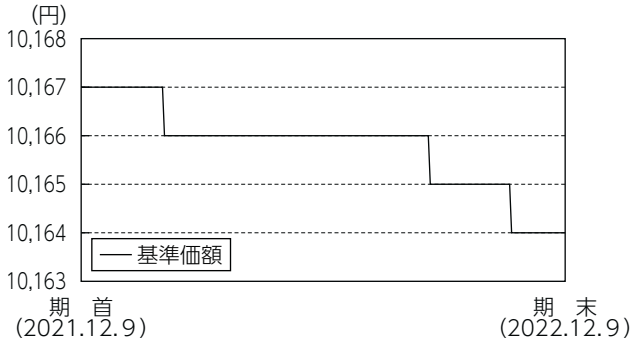
運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行いません。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
株式組入制限	純資産総額の30%以下

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期首)2021年12月9日	円	%	%
	10,167	-	-
12月末	10,167	0.0	-
2022年1月末	10,167	0.0	-
2月末	10,166	△0.0	-
3月末	10,166	△0.0	-
4月末	10,166	△0.0	-
5月末	10,166	△0.0	-
6月末	10,166	△0.0	-
7月末	10,166	△0.0	-
8月末	10,165	△0.0	-
9月末	10,165	△0.0	-
10月末	10,164	△0.0	-
11月末	10,164	△0.0	-
(期末)2022年12月9日	10,164	△0.0	-

(注1) 騰落率は期首比。  
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。  
 (注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,167円 期末：10,164円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用	-
合 計	-

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2022年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	14,815,299	100.0
投資信託財産総額	14,815,299	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年12月9日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>14,815,299,248円</b>
コール・ローン等	14,815,299,248
<b>(B) 負債</b>	<b>113,000</b>
未払解約金	113,000
<b>(C) 純資産総額(A - B)</b>	<b>14,815,186,248</b>
元本	14,576,480,402
次期繰越損益金	238,705,846
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>14,576,480,402口</b>
1万口当り基準価額(C / D)	<b>10,164円</b>

\* 期首における元本額は6,671,046,264円、当作成期間中における追加設定元本額は21,845,860,602円、同解約元本額は13,940,426,464円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額:

ゴールド・ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)	3,627,565,740円
ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド -A1新時代- (為替ヘッジあり)	977,694円
ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド -A1新時代- (為替ヘッジなし)	977,694円
ダイワFEGグローバル・バリュー (為替ヘッジあり)	9,608円
ダイワFEGグローバル・バリュー (為替ヘッジなし)	9,608円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり)	49,107円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし)	49,107円
ダイワ / "R I C I" コモディティ・ファンド	2,074,249円
スマート・ミックス・Dガード (為替ヘッジあり)	5,973,809円
スマート・アロケーション・Dガード	23,929,224円
堅実バランスファンド -ハジメの一步-	236,205,446円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/隔月分配型)	180,729円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/隔月分配型)	737,649円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/資産成長型)	95,276円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型)	337,885円
世界セレクトティブ株式オープン	983円
世界セレクトティブ株式オープン (年2回決算型)	983円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/毎月分配型)	983円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/毎月分配型)	983円
iFreeETF NASDAQ100インバース	5,509,329,948円
iFreeETF NASDAQ100レバレッジ	595,238,099円
iFreeETF NASDAQ100ダブルインバース	309,917,358円
DCダイワ・マネー・ポートフォリオ	4,031,730,013円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 日本円・コース (毎月分配型)	132,757円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型)	52,987円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	467,315円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型)	12,784円
ダイワ/フィデリティ北米株式ファンド -パライダムシフト-	1,988,495円
ダイワFEGグローバル・バリュー株ファンド (ダイワSMA専用)	3,666円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	155,317円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型)	38,024円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 米ドル・コース (毎月分配型)	4,380円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 豪ドル・コース (毎月分配型)	22,592円
ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (資産成長コース)	33,689円
ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース)	96,254円
ダイワ・ダブルバランス・ファンド (Dガード付/部分為替ヘッジあり)	104,785,071円
ダイワ6資産バランス・ファンド (Dガード付/為替ヘッジあり)	112,805,921円
ダイワ・インフラビジネス・ファンド -インフラ革命- (為替ヘッジあり)	5,385円
ダイワ・インフラビジネス・ファンド -インフラ革命- (為替ヘッジなし)	11,530円
ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 米ドルコース	9,817円
ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 日本円コース	6,964円
ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 通貨αコース	9,479円
ダイワ英国高配当株ツインα (毎月分配型)	98,107円
ダイワ英国高配当株ファンド	98,107円
ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ	982,368円
DCスマート・アロケーション・Dガード	8,073,994円

ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型)	1,097円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) トルコ・リラ・コース (毎月分配型)	2,690円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型)	1,350円
ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式αコース	98,203円
ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 通貨αコース	98,203円
ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式&通貨ツインαコース	982,029円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型)	9,652円

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,164円です。

■損益の状況

当期 自2021年12月10日 至2022年12月9日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>△ 3,985,061円</b>
受取利息	2,618
支払利息	△ 3,987,679
<b>(B) 当期損益金(A)</b>	<b>△ 3,985,061</b>
<b>(C) 前期繰越損益金</b>	<b>111,255,021</b>
<b>(D) 解約差損益金</b>	<b>△230,350,932</b>
<b>(E) 追加信託差損益金</b>	<b>361,786,818</b>
<b>(F) 合計(B + C + D + E)</b>	<b>238,705,846</b>
次期繰越損益金(F)	<b>238,705,846</b>

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。